

エコキャップ活動の紹介 県ホームページ事例集にて掲載

2月より福井県ホームページの先進的・積極的な取り組みを行っているSDGsパートナーの活動事例集にて伸海エンジニアリング(株)が行っている「キャップアート活動」が取り上げられました。

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/sdgs/sdgs-jireisyuu-r4.html>

SDGs14「海の豊かさを守ろう」の項目で紹介されています。

【紹介ページ】



ふくいSDGsパートナー



「エコキャップ運動」をアートでアピール

伸海エンジニアリング株式会社（坂井市）

SDGsに貢献！

- ・エコキャップ運動を通して、子どもたちにポリオワクチンを寄付
- ・キャップでアートボードを制作・展示し、エコキャップ運動の認知を拡大



1. ショッピングモール「エルバ」で開催のSDGsイベント「アースフェス」に出展 2. 環境問題学習プログラム「トヨタソーシャルフェス」で制作したエコキャップアート 3. 福井商業高校の生徒がペットボトルキャップを原料に開発したオリジナル定規「イノルラ」をPR

取り組みのきっかけ

当社では、下水道施設の維持管理を行っています。人が汚した水をきれいにして河川や海に還すという業務そのものが、SDGs目標14番の「海の豊かさを守ろう」に合致することから、目標達成に向けてさらに貢献したいと考え、プラスチックごみによる海洋汚染を防ぐ取り組みとしてペットボトルキャップの回収を始めました。キャップのリサイクルを通して、発展途上国の子どもたちにポリオワクチンを寄付する「エコキャップ運動」にも取り組んでいます。

特に注力しているSDGsの取り組み

エコキャップ運動を周知するため、学校や企業に、キャップを使用したアートボードの展示をお願いしたところ、展示だけでなく一緒に作りたいと希望する団体が次々と現れました。連携先は小中高校、自治体、企業、地域団体と多岐にわたり、15回の制作展示を行いました。この活動を通して、捨てればゴミになるキャップが、きれいな模様のアートに生まれ変わり、さらに寄付にもつながることを広くPRできたように思います。

担当者の思い

林 岳宏さん

事業を発展させていく上で、人材不足が大きな課題になっています。人材を確保するには、企業イメージを向上させ、就職先として選ばれる会社になることが大切だと考えています。その実現に向けて、SDGsへの取り組みが大きな1歩となりました。エコキャップアートの制作展示活動によって生まれた異業種とのつながりも収穫です。



Company Information

伸海エンジニアリング株式会社

住所 / 福井県坂井市三国町山岸39-50

事業内容 / 上下水道施設の維持管理、各種警備、清掃業務

創業年 / 1980年

代表者 / 代表取締役社長 中村幸広

従業員 / 205名

<http://www.shinkai-e.co.jp/>



会社ホームページ